

## 令和5年度 指定管理者モニタリングレポート

<b>施設名</b>	篠山チルドレンズミュージアム
<b>所在地</b>	丹波篠山市小田中572
<b>指定管理者</b>	<p>名 称 一般財団法人ポジティブアースネイチャーズスクール</p> <p>代表者 砂山 真一</p> <p>住 所 京都府京都市中京区西ノ京月光町18-2-1</p>
<b>指定管理者管理期間</b>	令和3年 4月 1日から 令和8年 3月 31日( 5 年間)
<b>モニタリングの 実施方針・ 方法・回数等</b>	毎月1回ミーティングを開催。事業報告書、実地調査及び指定管理者へのヒアリング等によりモニタリングを実施。
<b>担当部課 (問合せ先)</b>	<p>教育委員会 こども未来部 子育て企画課</p> <p>電話 079-552-0075</p>

### ◆モニタリングの総合コメント

令和5年度は、一般財団法人ポジティブアースネイチャーズスクールの指定管理期間(5年間)の3年目。施設の管理運営は、地元の村雲まちづくり協議会やミュージアムクラブ、人形劇団クラルテとの連携など、周辺地域や協力事業者との密接な関わりを持ちながら行われている。

経営面に関しては、市内在住者の無料化を活かし、利用者数の増加に努めている。コロナ禍から徐々に回復している中で、利用者を増やすため積極的に事業を行い、結果として利用者数はコロナ前の数字と同等かそれ以上の月も記録するなど、コロナ禍が晴れはじめた状況をうまく利用していた。また、予約の無い夏休み以外の平日及び厳冬期の2か月(1~2月)を休館とし、厳冬期には他施設を訪れて活動するなど、光熱水費やランニングコスト削減に努め、常に効率の良い運営を心掛けている。

運営面に関しては、利用者のニーズにも応え、地域とも協力体制を築きながらの取り組みを高く評価している。最終的に入館者総数38,480人(前年比約105.3%)と昨年度を上回り、最近5年で最も多い数字となっている。

### ◆今後の業務改善に向けた考え方

小学校の夏休み終了後、来館者数が一気に減少するため、8月末の開館の見直しを検討する。また、積水ハウスとのタイアップ企画やポテキチのうまいもん祭り、人形劇フェスタなど、人気度が高い外部団体イベントの取捨選択が難しいため、アンケートなどを行い利用者の声を聞きながら調節していく。

予想よりも参加者が多かった際に、売店がすぐ売り入れ、駐車場があふれて車の列ができるなど、少し苦情が出る事態が発生したため今後は入念な準備が必要となる。

昨年から、害獣問題や施設の老朽化が表面化している部分があるため、館長および指定管理者と協議を行い、必要な箇所は修繕を行うなど、安全面に配慮した施設運営を行う。

<b>業務内容</b>
<p><b>●管理運営方針（施設の設置目的と市の管理運営方針との整合性）</b></p> <p>チルドレンミュージアム設立時の理念として、子どもたちが自ら遊びを見つけ、それが生きる力につながるという考えを維持しながら、地域社会と地域外の子どもたちの将来のためのきっかけづくりとなる場所、人間が自然の一部であることを自覚できるような、篠山の自然を活かした参加体験型の施設を目指している。また、市民のための施設として地域住民等と協力して管理運営を行うことで地域活性化を図りつつ、市外利用者の増加も図りながら健全な施設運営ができるだけ収入の確保を目指している。</p>
<p><b>●法令・条例等の適切な運用状況</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 施設の運営に必要な許認可の取得状況及び許可期間（期限）の状況 飲食店営業許可（許可R3.3.26、期限R9.5.31）</li> <li>2 条例に規定されている事項の運用状況（利用料金等の単価、開館時間等） 条例に基づく時間、料金を施設のHPで確認</li> <li>3 条例に定める事項以外の利用方法がある場合には、その許可日、内容 開館時間を17時までとする規定を21時までとして運営（令和5年5月12日協議）・ホタルナイト 開館時間を17時までとする規定を21時までとして運営（令和5年8月15日協議）・たき火まつり 2月は休刊日とする規定を2/4は特別会館（令和5年12月7日）・餅つきイベント</li> </ol>
<p><b>●市民サービスの向上につながる質の高い管理運営（平等利用、利用促進等）</b></p> <p>令和3年度から、市民については無料化し、親子で気軽に訪れることができる施設を売りに、市民利用の促進に努めた。</p>
<p><b>●費用対効果の観点等から、効率的な管理運営（収支計画の適格性、効率的な維持管理）</b></p> <p>冬期間、平日などの閑散期を休館することで、光熱水費を節約、専業の常勤職員は少数とし、営業日のみアルバイトを雇用することで人件費がなるべくかからない方法を選択している。 施設の修繕については、予防保全が望まれるが、限られた経費の中で事後保全になりがちになっている。</p>
<p><b>●危機管理体制の確保（災害等緊急時の対応、苦情対応等）</b></p> <p>消防計画に則り体制整備を行っている。館内事故などについては、クレームに発展しないよう適切に対応するとともに担当部署とも情報共有している。</p>
<p><b>事業収支</b></p>
<p><b>●経済性</b></p> <p>令和4年度に引き続き、利用者数を増やし、コロナ前の数字以上に数字を伸ばしている。市民利用についても前年度を上回る数字を記録した。広告費やチラシの印刷代、廃品の収集など支出が増加したため、5年度の収支は赤字となった。</p>
<p><b>団体の経営状態</b></p>
<p><b>●経営の健全性</b></p> <p>5年度の収支は赤字であったが、全ての月でコロナ前と同等の利用者数を記録し、市内・市外ともに多くの方の利用があったため、経営状況に問題はないと判断した。市民利用奨励金も対象の利用が8,048人と、奨励金設置当初の目標（8,000人）を達成した。</p>

# 施設概要調書

## 1. 施設の概要

令和5年度

施設名	篠山チルドレンズミュージアム	所管課:	子育て企画課
所在地	丹波篠山市小田中572	設置年月日:	平成13年7月
設置目的	日本や世界の子ども文化の体験を通して、生きる力を育む創造性豊かな青少年の育成に寄与するとともに、参加と交流による地域創造の拠点づくりに資するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	篠山チルドレンズミュージアムの設置及び管理に関する条例(平成12年12月28日条例68号)		
施設の概要	設備の概要	敷地面積(㎡)	22,383.00㎡
		延床面積(㎡)	3,056.90㎡
		○子どもグラフィティ棟(木造瓦葺き平屋建 496.32㎡) ○交流棟(木造瓦葺き平屋建 476.68㎡) ○ワークショップ棟(木造一部RC2F 1,099.53㎡) ○体験シアター棟(木造カラーアルミ葺き平屋建 423.06㎡) ○管理棟・トイレ棟・かまどワールド・駐車場・芝生広場など	
	事業概要	篠山チルドレンズミュージアムの管理業務について、施設の適切な管理運営、サービスの向上と利用者数の増加を図るため、指定管理者による運営を行う。主な業務として、館の運営、維持管理、清掃業務及び安全管理業務等のほか、施設を活用した自主事業を指定管理者において実施している。	

## 2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	220	220	100.0%
開館時間	10:00~17:00	10:00~17:00	100.0%
事業開催	各種ワークショップの開催 クラルテ人形劇 ノルディックウォーキング 歌声喫茶 特別イベント	各種ワークショップの開催(354回) クラルテ人形劇(24回) ノルディックウォーキング(8回) 歌声喫茶(12回) 特別イベント(17回)	-

## 3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
利用者数	30,000	38,480	128.3%
うち市内利用者数	8,100	10,503	129.7%

## 4. 事業収支

(単位:円、%)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	18,000,000	18,000,000	100.0%
市内無料補填	4,000,000	4,024,000	100.6%
利用料金(入館料・施設使用料等)	11,000,000	14,043,875	127.7%
WS・物品売上・雑収入	4,000,000	4,467,595	111.7%
収入計(A)	37,000,000	40,535,470	109.6%
人件費	18,670,000	20,594,350	110.3%
外注費	940,000	1,454,748	154.8%
仕入費	800,000	1,093,290	136.7%
消耗品費	1,200,000	1,833,586	152.8%
燃料費	100,000	110,000	110.0%
広告宣伝費(印刷・広告出稿等)	500,000	667,830	133.6%
光熱水費	5,000,000	4,925,254	98.5%
修繕料	800,000	364,382	45.6%
通信運搬費	300,000	393,373	131.1%
車検(3台)	450,000	142,403	31.7%
管理費	750,000	1,861,598	248.2%
複合機リース	300,000	305,600	101.9%
本部管理費	3,040,000	3,040,000	100.0%
展示収集/研究費	200,000	218,599	109.3%
報酬	350,000	385,000	110.0%
接待交際費	100,000	5,056	5.1%
会議費/新聞図書	200,000	127,704	63.9%
支払手数料	120,000	207,737	173.1%
ボランティア交通費	200,000	301,466	150.7%
研修費	300,000	516,000	172.0%
賃借料	150,000	137,000	91.3%
保険料	430,000	508,180	118.2%
租税公課	1,800,000	1,896,870	105.4%
支出計(B)	36,700,000	41,090,026	112.0%
収支(A)-(B)	300,000	△ 554,556	-184.9%

## 4-2. 事業収支(簡略版)

(単位:円、%)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
指定管理料	18,000,000	18,000,000	100.0%
利用料金収入	11,000,000	14,043,875	127.7%
自主事業収入	0	0	-
その他収入	8,000,000	8,491,595	106.1%
収入計(A)	37,000,000	40,535,470	109.6%
指定事業費	36,700,000	41,090,026	112.0%
うち、人件費	18,670,000	20,594,350	110.3%
うち、管理費	18,030,000	20,495,676	113.7%
自主事業費			
支出計(B)	36,700,000	41,090,026	112.0%
収支(A) - (B)	300,000	△ 554,556	-184.9%